



2015年12月期  
決算説明会

# 株式会社 妙徳

2016年2月26日

## 目次

---

1. 2015年12月期決算説明
2. 2016年12月期業績予想、株主還元
3. 今後の取り組み

## 2015年12月期連結業績

売上高 前期比+3.1% 経常利益 前期比+10.3%

特別損失計上により 当期純利益 前期比+4.1%

(単位：百万円)

	2013年 実績	2014年 実績	2015年予想 (8/3発表)	2015年 実績	増減率 (%)	
					前期比	計画比
売上高	2,095	2,370	2,612	2,444	3.1	▲6.4
売上総利益 (売上総利益率)	1,130 54.0%	1,338 56.5%	1,562 59.8%	1,490 61.0%	11.3	▲4.6
販売費及び一般管理費	788	963	1,096	1,054	9.5	▲3.8
営業利益 (営業利益率)	342 16.3%	374 15.8%	466 17.8%	435 17.8%	16.2	▲6.6
経常利益 (経常利益率)	353 16.9%	405 17.1%	484 18.6%	446 18.3%	10.3	▲7.9
税引前当期純利益	356	406	392	350	▲13.8	▲10.8
当期純利益 (当期純利益率)	225 10.8%	234 9.9%	270 10.3%	244 10.0%	4.1	▲9.6
1株当たり当期純利益	29円75銭	31円54銭	36円50銭	33円19銭	1.65円	▲3.31円

特別損失  
役員退任慰労金94百万円

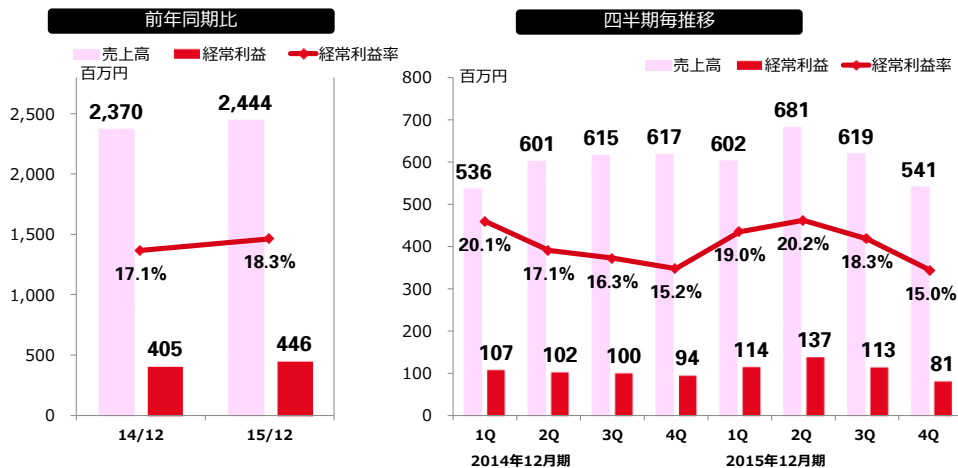
Myotoku Ltd.

2

## 連結売上高、経常利益推移

売上高 前期比+3.1% 経常利益 前期比+10.3%

15/下期 上期比▲10%の売上減



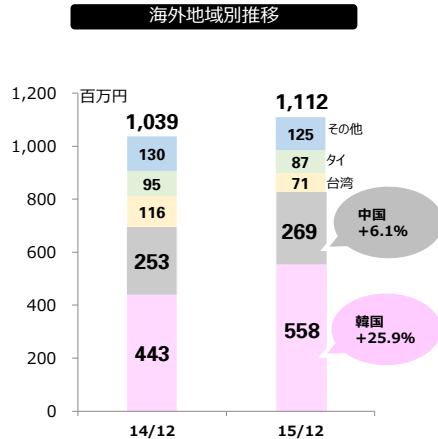
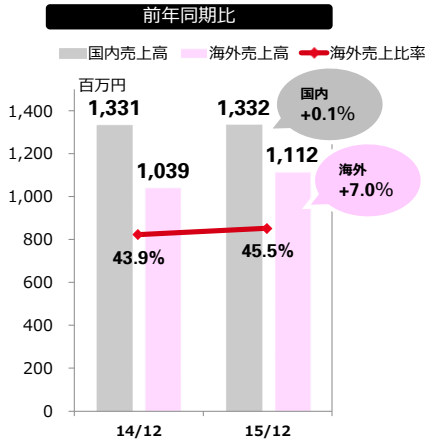
Myotoku Ltd.

3

## 連結国内海外別売上高

国内売上高は前期並み

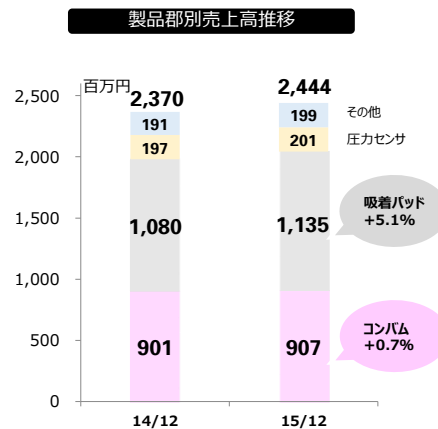
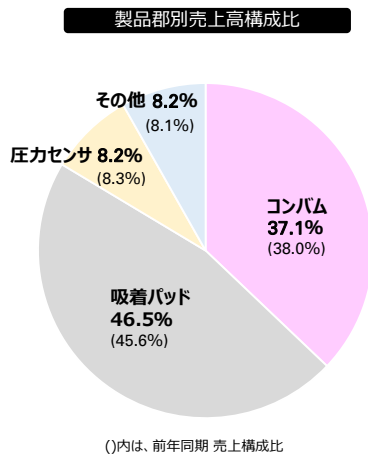
海外売上高 前期比+7.0% 韓国 前期比+25.9%



## 連結製品群別売上高

コンバムの新製品投入による売上高増加

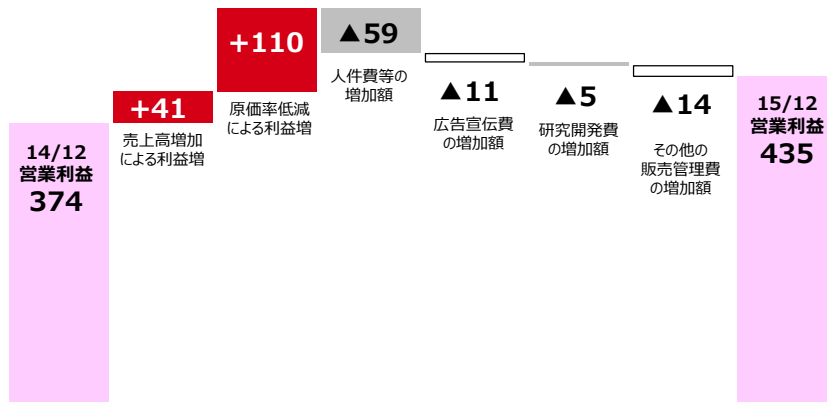
市場稼働率増による吸着パッド需要増



## 利益増減要因（前年同期比）

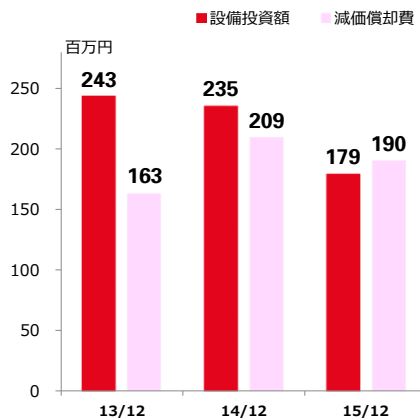
- 売上高増に伴う生産効率UPによる増益
- 人件費・その他販売管理費の増加 91百万円

（単位：百万円）



## 連結設備投資、減価償却費

- 基幹システム投資 2014～2015年 90百万円
- 工場機械設備への積極投資



### 15年の主な設備投資内容

基幹システム投資	54百万円
システム関連投資	13百万円
機械設備関連投資	21百万円
製品金型投資	21百万円
工場改修投資	22百万円
自動機関連投資	12百万円

## 連結財務状況

無借金経営の継続

自己資本比率 **89.8%**

(単位：百万円)

連結貸借対照表

	2014年 12月期末	2015年12月期末	
			前年比
流動資産	1,735	1,890	+154
固定資産	2,286	2,235	▲50
資産合計	4,021	4,125	+103
流動負債	322	254	▲67
固定負債	125	150	+24
負債合計	447	404	▲42
純資産合計	3,574	3,721	+146
負債・純資産合計	4,021	4,125	+103
自己資本比率	88.3%	89.8%	+1.5pt

連結キャッシュフロー計算書

	2014年 累計	2015年 累計
営業キャッシュフロー	282	318
投資キャッシュフロー	▲278	▲98
財務キャッシュフロー	▲84	▲99
現金及び現金同等物の増減額	▲68	110
現金及び現金同等物の期首残高	693	624
現金及び現金同等物の期末残高	624	735

## 目次

1. 2015年12月期決算説明
2. 2016年12月期業績予想、株主還元
3. 今後の取り組み

## 2016年12月期連結業績予想

売上高 2,534百万円 営業利益 前期比▲87百万円

売上高構成比の変動による営業利益率ダウン

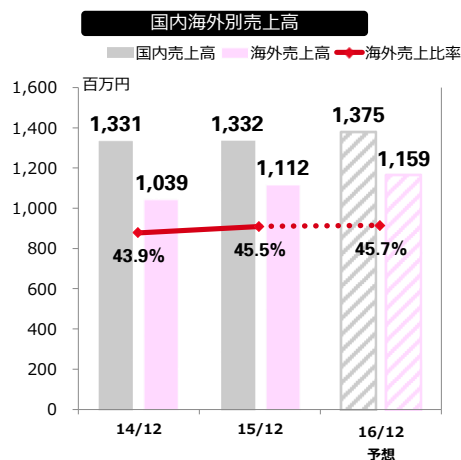
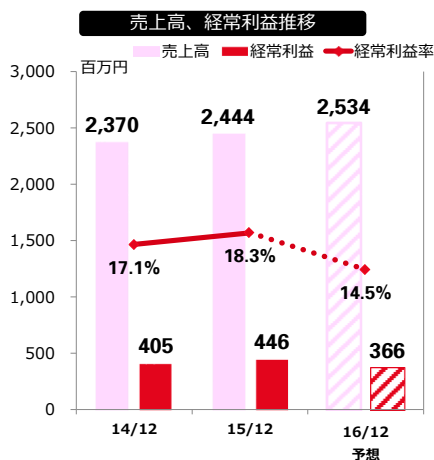
(単位：百万円)

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 予想	前期比	
				増減額	増減率 (%)
売上高	2,370	2,444	2,534	89	3.7
営業利益 (営業利益率)	374 15.8%	435 17.8%	348 13.7%	▲87	▲20.0
経常利益 (経常利益率)	405 17.1%	446 18.3%	366 14.5%	▲80	▲18.0
税引前当期純利益	406	350	366	16	4.6
当期純利益 (当期純利益率)	234 9.9%	244 10.0%	235 9.3%	▲8	▲3.5
1株当たり当期純利益	31円54銭	33円19銭	32円32銭	▲0.87円	▲2.6

## 2016年12月期連結業績予想

売上高 2,534百万円 前期比+3.7%

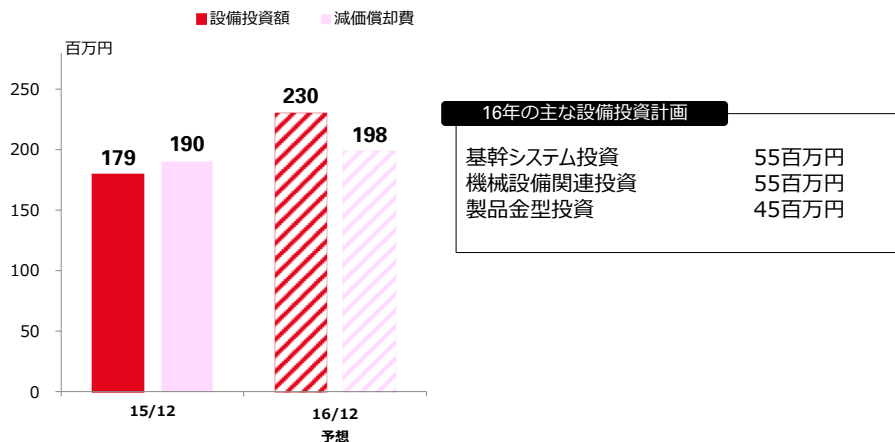
前期比 国内+3.2% 海外+4.2%



## 2016年12月期連結業績予想

連結設備投資・減価償却費予想

基幹システム、工場機械設備へ継続して投資



## 配当について

配当性向25% 安定的、長期的な利益還元

	2011年 12月期	2012年 12月期	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年12月期 (予想)
中間配当	5.0円	4.0円	3.5円	5.0円	3.5円	4.0円
期末配当	5.0円	3.5円	4.5円	4.0円	5.5円	4.0円
年間配当	10.0円	7.5円	8.0円	9.0円	9.0円	8.0円
1株当たり 当期純利益	39円78銭	23円74銭	29円75銭	31円54銭	33円19銭	32円32銭
配当性向	25.1%	31.6%	26.9%	28.5%	27.1%	24.8%

2014年12月期は配当は、記念配当1.0円(中間配当0.50円、期末配当0.50円)を含む

中期ROE目標 10%超

	2011年 12月期	2012年 12月期	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年12月期 (予想)
ROE 自己資本当期純利益率	10.6%	5.9%	6.9%	6.8%	6.7%	6.4%

## 目次

---

1. 2015年12月期決算説明
2. 2016年12月期業績予想、株主還元
3. 今後の取り組み

## 方針

---

| スローガン「**コンバム パッド ナンバー1**」

### 売上規模の拡大

- ・ 海外販売規模の拡大 海外比率50%超へ
- ・ 北米市場開拓
- ・ 国内市場シェアの奪回

### 製品競争力の強化

- ・ リードタイム圧縮により、即納体制の構築
- ・ 製造工程自動化による競争力強化

### 研究開発型 企業への転換

- ・ 市場ニーズに応える新製品開発と市場投入
- ・ 海外生産移管、地産地消体制へ
- ・ 基礎研究による技術の蓄積



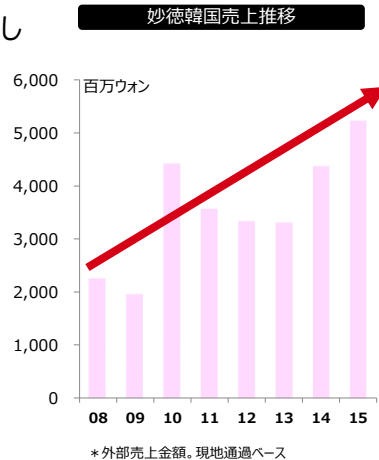
## 海外販売規模の拡大 海外比率50%超へ

売上規模の拡大

### 韓国市場での取り組み

- ✓ 半導体・液晶関連業界外で販売拡大を目指し  
新・製品ラインナップを市場投入

- ・開発部門、品質保証部門の立上げ
- ・韓国市場向けロースペック製品投入
- ・新規駐在所設置
- ・現地生産機種拡大



## 海外販売規模の拡大 海外比率50%超へ

売上規模の拡大

### 中国市場での取り組み



- ✓ 営業体制を強化し、引き続き需要の拡大する、  
省人化、自動化市場での売上拡大を目指す。
- ・展示会への継続出展、ブランドPR
- ・広告宣伝の継続

### タイ(タイ周辺東南アジア市場)での取り組み



- ✓ タイ及び周辺国への営業拠点として  
売上高の拡大を目指す
- ・展示会への出展、広告宣伝
- ・新規装置メーカーの開拓
- ・インドネシア、マレーシア市場への注力

## 海外販売規模の拡大 海外比率50%超へ

売上規模の拡大

### 北米市場の開拓

- ✓ 北米市場はアジア同等の市場規模
  - ・2015年：北米市場開発室設置  
市場調査
  - ・2016年：駐在拠点設置  
顧客開拓および販売網の構築
  - ・2017年：拠点開設と新製品投入
  - ・2018年：150百万円/年の増収目標
- ✓ 2016年11月 シカゴ PACK EXPO へ出展



Myotoku Ltd.

18

## 国内市場シェアの奪回

売上規模の拡大

### 産業用ロボ周辺需要の獲得

- ✓ 営業体制強化、人員増強  
15年末22名(32%) (14年末17名) 16年27名計画
- ✓ 産業用ロボット装置のシステム受注
  - ・吸着搬送ノウハウを活かし搬送、組立、検査、梱包工程に特化  
→ロボットハンド部需要に特化
- ✓ 全国の展示会へ継続的に積極出展
  - ・2016年4月 ファインテックジャパン(東京)  
名古屋機械要素技術展(愛知)
  - ・2016年5月 MEX金沢(石川)
  - ・2016年10月 TOKYO PACK2016(東京)  
機械要素技術展(大阪)  
モノづくりフェア2016(福岡)
- ✓ 販売促進の強化
  - ・HPの拡充、販促資料の刷新、ECサイト刷新



Myotoku Ltd.

19

## 製品競争力の強化

製品競争力の強化

### リードタイム圧縮による即納体制への構築へ

- ✓ 短納期体制の構築
- ✓ 基幹システムの刷新
  - ・2015年8月稼働開始
  - ・オペレーター業務の効率化、製造リードタイムの圧縮へ
  - ・更に1.5次～2次投資 業務改革へ
  - 受注～製造指図の発行、部材発注～納期回答の自動化

### 当社生産工程の自動化を推進

- ✓ 省人化モデルラインとしてPR
- ✓ 生産性の向上、品質の安定化
- ✓ 価格競争力の強化



Myotoku Ltd.

20

## 研究開発型企业への転換

研究開発型  
企業への転換

### 量産工場(低付加価値工場)からマザー工場(高付加価値工場)へ

- ✓ 量産品を海外へ生産移管
- ✓ 新たな技術の習得、研究開発、生産技術の蓄積

### 研究開発の体制強化に注力

- ✓ 各国、各業界別市場の動向調査
- ✓ 基本性能向上のための基礎研究、技術の応用
  - ・電磁弁、圧力センサ、継手、材料etc
- ✓ 人員体制の強化

次世代製品の  
市場投入



コンバムユニット

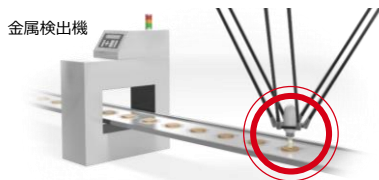
Myotoku Ltd.

21

## 新製品：食品業界向け新材質吸着パッド



金属検知に反応するパッド



金属検出機

### 【背景】

- ・パッドのカケや落ちがあると、そのラインで製造した全ての製品チェックが必要
- ・金属検出器が製造ラインにあるがゴム製のため反応しない

### 【新製品】

- ・従来のシリコン製吸着パッドに金属成分を配合したパッドを開発
- ・金属検出器での検出が可能となり食品製造関連のお客様より大きな反響

## 会社概要

(2015/12/31)

会社名	株式会社 妙徳 (英語表記: Myotoku Ltd.)
創立(設立)	1951年4月16日
本社所在地	東京都大田区下丸子2-6-18
代表者	代表取締役社長 伊勢 幸治
資本金	7億4,812万5千円
国内拠点	岩手、東京、名古屋、大阪、福岡
連結子会社	妙徳空霸陸機械設備(上海)有限公司(中国上海、深セン、重慶) CONVUM KOREA Lt d. (韓国ソウル、釜山、天安) CONVUM (THAILAND) Co.,Lt d. (タイ国バンコク)
連結従業員数	112名(単体69名)
発行済株式数	8,285,000株
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場 証券コード: 6265

## CONVUMって何？

CONVUM（コンバム）は、圧縮空気を利用して真空を発生させる装置の当社ブランド名です。

コンバムは主として、各種製造工場における各工程の自動化装置において、対象物を吸着固定、吸着搬送するための把持装置として使用されております。

### 当社製品の使用事例



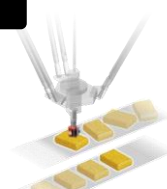
自動車フロントガラスの吸着



電子部品・半導体部品の実装



ロボットを利用した吸着搬送



## お問い合わせ先

IR統括責任者 代表取締役社長 伊勢 幸治

お問い合わせ先 取締役執行役員経営企画担当 泉 陽一

経営企画部長 篠原 康隆

TEL : 03-3759-1491 / Email : info@convum.co.jp

HPでは会社情報を随時更新しております。 URL : www.convum.co.jp

# 株式会社 妙徳

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しにみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。